



議会だより



今年を元気に
とんどさん

笠木自治会 1月15日

おもな内容

12月定例会	2
一般質問(7名)	4
第1回臨時会	14
どっこい、この町に生きる	16

日南町森林組合、選木機導入など 木材加工流通施設整備へ

12月補正予算で議決

総事業費 1億2千万円 国の補助金6千万円 日南町2千4百万円

木材団地(下石見)の概略図



選木機



木材加工流通施設等整備事業とは

木材団地にある木材加工工場などの原木需要の増加や、多様な素材需要に対応するために選木機を導入して、山土場での選別から原木の受け入れ側である日南町森林組合が直接選木することにより、素材生産の省力化を図ることが期待されます。

- 素材の年間取扱材積は、41,000立法メートルを予定
- 複数名の新規雇用をする
- 完成予定は、平成29年7月～8月
- 選木の手数料は、1,000円/㎡
出荷者 500円/㎡ 販売先 500円/㎡を予定
- 原木買入れ予定価格(案)
A材: 12,000円/㎡
B材: 8,000円/㎡
C材: 5,000円/㎡

新年あけましておめでとございます。
昨年最後の12月定例会は、12月6日から12月13日までの8日間の会期で開かれました。初日には一般質問が行われ、7人の議員が登壇し執行部の所信を問いました。
執行部から提案された規約改正と条例の一部改正、平成28年度補正予算などは、原案通り可決しました。また、最終日には「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」や「日野川の砂撤去・葦刈り等」についての陳情」を議決して閉会しました。

日南町職員の給与に関する条例の一部改正
人事院勧告による、国家公務員の給与改定に準じて改正するもの。
内容
■ 給料表について、平成28年4月に遡及して改正。
平均改定率(0.23%)
■ 勤勉手当の年間支給月数が、1.6月から1.7月へ。
■ 扶養手当の額を平成29年4月から段階的に改定。
一般会計補正予算 5千万円の債務負担行為
平成28年に稼働を開始した、新日野上小水力発電所(河上)が、平成28年6月8日に導水管破損の事故が発生しました。
その復旧工事のために、(株)日南町小水力発電公社(代表取締役・増原聡)が、設計、導水管復旧工事、土木工事などで5千万円借入れを行うための債務負担行為損失補償を議決しました。期間は、平成28年度から38年度までの10年間。

議決したおもなもの



導水管の破損箇所



原木の集積がすすむ木材団地



坪倉勝幸議員

問 農地基盤の整備を積極的に推進すべきでは

答 事業を活用できる地域があれば、推進を積極的に図る

答 増原町長
①人・農地プランの中心経営体として位置付けている農家は、11月末現在で認定農業者38(個人19・法人19)、集落営農組織3、準経営体20、新規就農者12でまだ目標には達していないが、60位の数値が超えたところである。それぞれの経営体の進捗に応じた支援策を講じる。新規就農

②平成35年までに担い手への農地集積を800haとする目標であるが、どのように進めるのか。
③耕作放棄地対策と生産性の向上のために農地の排水性の向上、農地の汎用化など農地基盤の整備が絶対的条件である。待ちの姿勢ではなく積極的に推進する考えはないか。

問 農業政策
高齢化や農地基盤の不良などにより、地域の資源でもある農地が荒廃している現状がある。また、地域農業を中心的に担う担い手の確保・育成が必要である。

①担い手と位置づけられる認定農業者、集落営農組織、準経営体、新規就農者を平成35年までに90経営体とする目標があるが、その育成・確保をどのように推進していくのか。
②農地中間管理事業や農業経営基盤強化法に基づく利用権設定などの制度を活用し、農地利用最適化推進委員とも連携し、人・農地プランに位置づけた担い手に農地の集積を進めていく。
③今回、国の補正予算で、農業基盤整備事業が組まれたところである。これらの事業を活用しながら、まず地域農業の振興には、人と農地の課題に対処すること



圃場の排水工事

答 町長
本年4月から設置されるよう義務付けられた農地利用最適化推進委員は、日南町農業委員会では9名で、農業委員と2人3脚で活動していただいている。
従来は農業委員が法令審議及び現場活動を実施していたが、法改正により主に農地利用最適化推進委員が定められた区域で耕作放棄地対策や人・農地プランの推進などの現場活動を中心に実施していただいている。

問 農業委員会
農地利用最適化推進委員の具体的業務をどう捉え、実行していくのか。

が必要である。中心となって取り組む担い手に優良な基盤整備地を集約し、安定的な経営を目指すして行きたいと思っている。
地域で農地を守り、担い手の生産性を向上させる為には、基盤整備を行い、水路・農道と合わせた農地の利便性を高める必要がある。
既存事業と今回の補正等で該当する地域があれば、その推進を積極的に図り安定した経営基盤を推し進めて行きたい。



古都勝人議員

問 農地の出し手受け手面積の推計は

答 出し手面積は約294ha
受け入れ可能面積は約46haと推測

問 鳥獣被害の対策状況
①今年度、現在までの捕獲、駆除等の実績は。
②猟友会の組織の状況はどのようなになっているか。
③猿、鹿、カラス、による被害をよく聞かすがその状況と対策は。

答 増原町長
①平成27年中においては、約219haの農地の移動があり、うち約189haが担い手に移動している。
②本年5月から農地利用最適化推進委員も新たに加わったことにより、中間管理機構への橋渡し等相談体制が充実することになった。
③大規模経営体または大規模経営個人の受入可能面積は約46ha、離農による移動面積は約294haと推計される。

問 農地の流動状況
①移動農地は年間、どれだけあるのか。また、移動先別の状況は。
②農地利用最適化推進委員の設置がなされた新農業委員会での農地流動化手順はどのようなになっているのか。
③大規模経営体または大規模経営個人の今後、受け入れ可能面積と離農による移動面積はどのように推計されているのか。

問 農業イメージアップ化検討事業
組織と現在までの取り組み状況は。

イノシシ及びシカの有害捕獲捕獲数
期間:3月1日～10月31日(有害捕獲期間・猟期外)
・外数:イノシシの捕獲頭数・():シカの捕獲頭数

地区名	H25	H26	H27	合計	H28
阿毘縁	0 (0)	5 (0)	1 (0)	6 (0)	2 (0)
大宮	16 (0)	16 (0)	13 (0)	45 (0)	15 (0)
山上	5 (0)	9 (0)	5 (0)	19 (0)	18 (0)
多里	38 (0)	87 (0)	80 (2)	205 (2)	82 (2)
日野上	0 (0)	35 (1)	21 (0)	56 (1)	36 (0)
福栄	2 (0)	9 (0)	6 (1)	17 (1)	13 (1)
石見	20 (0)	26 (0)	9 (0)	55 (0)	33 (1)
合計	81 (0)	187 (1)	135 (3)	403 (4)	199 (4)

答 町長
①イノシシ199頭、鹿4頭、アナグマ等26頭。
②町内に7支部、会員は46名。
③猿は平成26年、28年石見地区を中心として家庭菜園を中心に被害、鹿は目撃情報が増加、カラスは平成28年度、被害報告なし。猿対策は、無線連絡と追い払いの実施。

問 町長
役場の職員は今後3年間で8名退職予定。病院は今年度に薬剤師1名、新年度には看護師1名、理学療法士1名を採用予定。保健師は、今年度は採用が困難福祉会では、町の奨学金制度を活用しており、28年度では2名の採用を行っている。今年度は2名の奨学金の申請がある。

答 町長
役場、病院、保健センター、日南福祉会関係などにおいて人材確保が急がれているが、その後の状況は。

問 町長
平成27年度から野菜振興を総合的に推進している。基幹4品目に対して2つのプランを策定して推進中である。

答 町長
取り組み内容を「半農半Xライフプラン」の構築に変更したため組織化は行っていない。ダブルインカムを目指し協議を行っている。
答 町長
現在までの取り組み状況と成果実績は。



久代安敏議員

問 森林・林業政策で、安定的な雇用の拡大につなげるよう対策を

答 雇用が増加しており、経済的な波及効果は24億円以上



高性能林業機械による若者雇用促進

- 問** 森林・林業政策
- ① 11月19日に大建工業、日南町森林組合、(株)オロチと日南町との間で基本合意した日南町「木材総合カスケード利用事業」の事業概要と今後の展開は。
 - ② 8月の臨時議会で可決した「木質バイオマスエネルギー資源の調査」との関係についても説明を求める。
 - ③ 12月定例会の補正予算で提案予定の「木材加工流通施設等整備事業」についての詳細を明らかにしたい。

- 答** 増原町長
- ① 木材を製品のみならず、無駄なく、効率的に、利用すること。今後は、4者で利用検討プロジェクトを立ち上げ、協議していく。
 - ② このたびの「木材総合カスケード利用」の事業計画を「木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入策定事業」による木質バイオマスエネルギー事業化可能性調査にも反映させていく。
 - ③ 日南町森林組合を事業主体として、山土場での選別作業をせず、集積場まで搬出し、

④ 今年7月に日南町森林組合が組合員に行ったアンケート調査の結果を町としても情報を共有して生かすことが大切だと考える。どのように分析・評価しているか。

- 問** 部活差別の解消の推進に関する法律
- 答** 町長
- ① 議員提案により臨時国会で可決された「部活差別の解消の推進に関する法律」は、「部活差別」を固定化する法案であると考えられている。
 - ② これまで日南町が行ってきた「人権・同和対策事業」について、現時点での到達をどのように評価しているのか。
 - ③ インターネットによる新たな形態の部活差別が行われており、その対策としての法案であり、差別を固定化するものではないと考える。
 - ④ 環境改善は進んできたが、近年差別事例が発生するなど部活差別は解消されていないと考えている。



近藤仁志議員

問 交通弱者対策にタクシー助成を

答 財源確保を前提に選択肢の一つとして検討する

- 問** 中心地域と集落を結ぶ交通体系の在り方
- ① 日南町公共交通総合計画策定における調査事業報告書が取りまとめられ、その中で高齢者への対応は。
 - ② バス利用は通学以外には高齢者の通院・買い物利用が中心となっているが、行動パターンに適応したダイヤの改正を望む声が多い。その対応はできるか。
 - ③ デマンドバスを充実させれば民間事業者を圧迫する。共存できる方法は。
 - ④ デマンドバスに対する行政負担額は利用者一人当たり、石見線15,087円、福栄線10,860円、大宮線9,283円となっている。バスの財政負担を減らし、その分他の移動サービス(タクシー利用助成等)を充実」との要望割合が各世代で20%を超えている。ドア・トゥ・ドアの観点からもしっかりとしたタクシー助成はできないか。

答 増原町長

- 問** 農地及び農村社会を維持するための方策
- ① イノシシ被害の被害総額は。また、防ぎきれない県道、町道、農道等からの侵入対策として道路へのグレーチングの設置が有



高齢者に優しい多機能タクシー

- 問** 道の駅の在り方
- ① 観光・移住・定住情報発信拠点とし観光協会を移し、道の駅とタイアップした体制がとれないか。
 - ② 道の駅オープン前より日南ブランド商品開発と並行して販路拡大の取り組みが見えてこない。取り組み内容と進捗状況は。

- 答** 町長
- ① 観光案内窓口の道の駅設置について検討。併せて移住・定住情報の発信もしていきたい。
 - ② 広範囲からの来店、販売拡大のため、山陽方面等への情報発信を行っている。ふるさと納税の返礼品やネット通販も検討中。
- 問** 道の駅の在り方
- ① 観光・移住・定住情報発信拠点とし観光協会を移し、道の駅とタイアップした体制がとれないか。
 - ② 道の駅オープン前より日南ブランド商品開発と並行して販路拡大の取り組みが見えてこない。取り組み内容と進捗状況は。
- 答** 町長
- ① 平成28年度は、現在まで572千円。グレーチング設置は、効果実証をすべき。
 - ② 農地は、地域内での適正な流動化が大前提。地域・集落での話し合いが大切。
- 問** 道の駅の在り方
- ① 観光・移住・定住情報発信拠点とし観光協会を移し、道の駅とタイアップした体制がとれないか。
 - ② 道の駅オープン前より日南ブランド商品開発と並行して販路拡大の取り組みが見えてこない。取り組み内容と進捗状況は。

町政のここが聞きたい



山本芳昭議員

問 標準学力調査について
どのように分析、活用されているか

答 授業づくりや補充学習の工夫に
活かしている

問 中学校の部活動
①人数不足で存続が危ぶまれる部があるように思われる。例えば日野郡の中学校で一緒に部活動を行う、又は部活動としてではなくクラブ活動として行う事も考えられる。現在の状況、今後の取り組みの考えは。
②部活動は学校教育において必須であるのか。どうしても部活動が学校としては必要であるならば週の内一日を部活動、その他

答 丸山教育長
①教科の平均得点やその経年変化、分布等から学力の定着度を把握すると共に、苦手な領域等を明確にして、日々の授業づくりや補充学習の工夫に活かしている。
②小人数校では平均値のみで判断することは困難である。調査結果を分析して授業に活かしている。

問 学力向上の取り組み
①学力向上について様々な取り組みをされているが、例えば標準学力テスト等についてどのような分析、活用されているのか。
②27年度の学力調査において中学校35科目の内23科目の平均値が目標値に届いていないその原因と分析は。

問 一貫校
一貫教育をより充実したものに
するため小中一貫校にすることを
検討してはどうか。
答 教育長
小中学校が別々にあることでの



鳥取県中学校駅伝競走大会

答 教育長
①現在は、バレー部女子が日野中学校と合同チームを編成しており、それ以外の部は単独で活動している。今後、他の学校と合同チームを編成することも選択肢の一つである。部活動を廃止して社会体育のクラブに移行することは考えていない。
②部活動は学校教育において必要と考えている。社会教育分野でのスポーツ振興において検討することも必要と考える。

問 日南町交通体系
①現在6,800万円の運営費が新交通体系への見直しでどの程度費用を削減できるか。
②過疎地有償運送車両制度を利用し、委託料を福祉会や夢太陽など福祉自動車運送へ助成できないか。

問 家電5品目の処分
清掃センターの改修により、特定家電5品目を回収できないか。
答 町長
このたびの清掃センターの改修は、新たに回収を開始した小型家電の一時保管スペースを確保するためのものであり、特定家電を回収し、一時保存できるほどのスペースはない。ただ、将来的には、町民のニーズ等を調査し、特定家電回収の方向性を決定する。

答 増原町長
①車両の小型化と減便で経費を削減できるが、空白地域への対策費の財源にしたい。
②他事業での運賃等を調査し検討したい。

町政のここが聞きたい



大西 保議員

問 男女共同参画推進の28年度の
活動実績はどうなのか

答 ほとんどやっていない

答 増原町長
①28年度の実績は、美辞麗句を言いたくはないが、ほとんどやっていないのが実態であると認識している。今後委員会で協議をし、町内企業の育児・介護休暇制度等の状況把握に取り組みたい。
②平成26年度は5回、委員研修や町内企業へのアンケートの検討や企業訪問等を行った。27年度

問 日南町男女共同参画
①5年目となる毎年10月に、各地域へ出向いて開催されている議会報告会で町民の方より「日南町男女共同参画について町は、条例を整備し、活動を実施してきたが、今年度は動きがない。職員の職務体制について疑問を抱くが、一体何をしているのか」と大変厳しいご意見をいただいた。町は、日南町男女共同参画推進条例を平成25年4月に施行し、「第3次日南町男女共同参画推進計画」平成26年～30年迄の5ヶ年計画を作成された。平成28年度の取り組み状況はどうなのか。
②男女共同推進委員会の26年度、27年度、28年度の開催実績はどうなのか。



男女共同参画推進委員会(人権センター)

問 人ロビジョン総合戦略
①第3者評価委員会の見直し後、具体的内容の統廃合やKPIの数値はどうなったのか。
②当課・担当者は明確になったのか。

も5回、企業の表彰制度の検討等を行った。28年度は今後開催予定である。町民の方からのご意見をいただいたのは、前向きにもっとしっかりしていけないとの認識で、職員に対して再度叱咤激励していく。

答 山中専門監
④各事業の数値の公表については、12月議会中の全員協議会で説明を行い了承後、県に報告をし、その後町のホームページに公表する予定である。

答 町長
①KPIの統廃合や、数値目標の設定については、自己評価を行い、設定の見直しをしたところであるが、今回はさらに評価委員会を経た上で最終的に見直しを行い11月末に整理ができた。
②担当課・担当者については、当初の計画策定の段階で明確化されており、引き続き担当職員が責任を持って各事業を進めている。
③自立改革推進本部を中心に各課より聞き取りを行い、各課で担当する事業をどのように今後進めていくのかという点についてその都度ヒアリングを実施している。
③課との連携や連絡会議の開催状況はどうか。
④見直し後の内容、数値目標の公表はいつ行うのか。

12月定例会審議結果と議員ごとの賛否内訳

賛成＝○ 反対＝×

議案名	結果	足羽 覚	恵比奈 礼子	(欠員)	古都 勝人	山本 芳昭	大西 保	坪倉 勝幸	近藤 仁志	荒木 博	久代 安敏	福田 稔	村上 正広
平成28年度 補正予算													
一般会計（第5号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
国民健康保険特別会計（第2号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
簡易水道事業特別会計（第2号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
農業集落排水事業特別会計（第3号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
介護保険特別会計（第2号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
介護サービス事業特別会計（第1号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
病院事業会計（第1号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
条例の一部改正													
日南町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町職員の給与に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
その他の議案													
鳥取県町村職員退職手当組合の共同処理する事務の変更及び鳥取県町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
鳥取県町村消防災害補償組合の解散に関する協議について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
鳥取県町村消防災害補償組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
町村等の非常勤職員の公務災害補償等に関する認定委員会及び審査会の共同設置の廃止に関する協議について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
陳情・陳情													
臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願	不採択	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	－
日野川川底の砂撤去・葦刈り等についての要望	採択	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
鳥取県西部地区に問題行動等に総合的・長期的に対応する仕組みの実現を求める陳情書	継続審査												
意見書													
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－

※村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。ただし、採決で賛否が同数となった場合は「議長裁決」という形で賛否表明をします。

町政のここが聞きたい

問 早急に障がい者のグループホームの施設整備を

答 運営主体や人材の確保と養成が必要であり取り組みを急ぐ



足羽 覚議員

問 障がい者グループホーム整備

答 増原町長

「日南町過疎地域自立促進計画」では、平成29年度に整備する計画としている。高齢化が進む本町においては、障がい者グループホームの整備は必要性を認識している。

施設整備と併せて、運営主体や人材確保・養成が必要である。障がい者及び家族との会合については、年1回以上、「日南町手をつなぐ育成会」等の障がい者団体と意見交換を行なっている。平成29年度予算に、整備に向けた予算を計上できるよう取り組む。

問 社会体育施設の改修

①日南町過疎計画で、平成30年度に社会体育施設の整備計画が予定されており、「耐震補強を目的とした施設の改修」とある。設計や施設の利用促進に町民の意見を取り入れているか。

②耐震化に対応するための社会体育館建て替えに関して、町民の方々の意見をお伺いしているところである。より多くの方に利用していただけるよう、いただいた意見を参考にして施設設備の充実を図る。

②町民の方々から健康増進施設を望む声を聞いている。社会体育施設との関わりも含めてより多くの意見や提案を聞き、検討する。



傷みが目立つ社会体育館

問 進み行く荒廃農地

答 町長

①認定農業者・農地所有適格法人等農地の担い手の育成、中山間地域等直接支払い交付金や農地中間管理事業等の補助事業に有効的に取り組むことにより、農地保全に努めこれ以上荒廃化が進まないように推進していく。

②農業委員会として、守るべき農地と、農地として継続して利用できない農地に区分し、前者には農地中間管理事業等補助金を推進し有効利用を促し、後者には「非農地判断」をし、山林・原野化を進めていく方針である。

①農業委員会資料によると、昨年の再生利用が可能な荒廃農地は11・61haで、本年は19・4ha、また、再生利用が困難と見込まれる荒廃農地は、昨年72haで、本年は80・8haの集計結果である。地区別に見て、福栄地区が特に再生利用が困難と見込まれる荒廃農地（昨年と比較して4・32ha）が増えている。各地域で荒廃農地を減らすには限界があると思われるが、対策をすすめるのか。

②特に、再生利用が困難と見込まれる荒廃農地の地主の大半が、町外に転出し過疎化がすすんでいるが対策は。

各常任委員会・特別委員会報告

総務教育常任委員会

	担当課	調査及び報告事項	結果及び意見
10月19日	企画課	日南町いきいき定住促進条例について	いきいき定住促進条例について検討する。
	住民課	新石見小水力発電所水路工事復旧工事について	水路復旧工事内容及び費用について調査する。
	総務課	日南町海外派遣事業、学力調査分析、町史編纂について	海外派遣事業について、9月はアメリカは夏休みで受け入れが困難であること。学力調査について学力の二極化傾向がある事。地域学校家庭の連携が大切であること。町史編纂については編集委員、編集協力者の移植について報告を受ける。
11月24日	企画課	日南町いきいき定住促進条例について	いきいき定住促進条例について検討する。
12月8日	企画課	日南町いきいき定住促進条例について	いきいき定住促進条例について検討する。

経済福祉常任委員会

	担当課	調査及び報告事項	結果及び意見
12月8日	日南病院	眼科外来診療日の変更について 交付税算出方法の変更について 療養病床転換の経過について 町民アンケート対応について	・診療日は水曜日のみ。予約制で午後の診察もする。 ・算定の基礎となる許可病床数から稼働病床数に変更により、H29年度は緩和措置があり、1,378千円の減。 ・H29年度末までに介護療養病床を老健施設等に転換の予定。 ・整形外科の医師増員要望と小児科常勤医師の募集。 内科の時間予約制を検討中。接遇研修の実施。
	議員	請願1件・陳情審査2件の審査	上萩山、宮本繁さん宅上流を現地調査 
1月10日	建設課	陳情に係る県への要望について (1月18日に鳥取県知事あてに要望書提出)	日野川水系の河床の堆積物の撤去及び葦等の雑草の除草など河川環境を保全する要望案の検討。
	福祉保健課	日南福祉会の運営状況について	施設の利用状況と福祉会の経営状況や介護職員の離職者数・採用者数について、及び、今後の事業運営体制の方針についての報告と意見交換。

中心地域整備に関する調査特別委員会 12月9日・1月20日

担当課	調査及び報告事項				結果及び意見					
企画課	道の駅におけるEVI実績について				EVI実績の報告を受けた。冬季間の商品確保について生産者協議会と協議して対応するとの説明を受ける。					
農林課	冬季間の出荷体制について				加工品の展示スペースを広げる。手工芸品の出荷を増やす。「雪ばれ野菜」を出す。温かい商品を出す。ことなどを出荷者協議会と協議したと報告を受ける。					
道の駅 売上げ実績 直売所・レストラン・トマト加工の合計 (単位・千円)										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
売上額	10,943	18,227	9,812	10,091	12,015	7,625	9,611	8,291	6,797	93,411

請願・陳情の審査結果

提出のあった請願・陳情は、12月定例議会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審査意見	本会議
臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願	鳥取県農民運動連合会 会長 今本 潔	開会中の臨時国会で既に批准されたので、願意の要件を満たさない。	不採択
日野川川底の砂撤去・葦刈り等についての要望	多里まちづくり推進協議会 会長 榎尾 稔正 湯河自治会長 榎尾 稔正 多里自治会長 浜田 邦夫 萩原自治会長 西村 彰滋 新屋自治会長 絹谷 澄雄 上萩山自治会長 板持 一幸	日野川の河床の堆積物の撤去及び葦等の雑草の除草は全町的な課題であり、河川管理者である鳥取県に対応を急ぐよう議会として要望する。また、町管理の河川についても防災上から改良を求める願意は妥当である。	採択

12月定例会で下記の意見書を採択し、衆参両議長及び内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました (要旨掲載)

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。しかしながら、昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

河床掘削などを県に要望

日南町議会は1月18日、鳥取県西部総合事務所日野振興センターで、昨年12月定例会で採択した陳情(上覧)にもとづき、日野川水系の河川を管理する平井伸治鳥取県知事あてに要望書を提出し、早期に実施するよう強く求めました。(要旨掲載)

河川の機能を維持・保全するため、河床掘削や河川伐開などに要する適切な予算を確保し、河川の安全・安心な維持管理をお願いします。

記

- (1) 河川に堆積した土砂を撤去し、治水上の安全な河川断面を確保すること。
- (2) 河川敷や護岸の草木を伐採し、流下能力の向上と護岸点検を図ること。
- (3) 壊れた護岸などの河川構造物を修繕し、洪水時の安全を確保すること。



村上議長と経済福祉常任委員会で要望

新年度から子育てと定住対策を充実します

1月20日の臨時会で、総務教育常任委員会山本委員長の提案によるいきいき定住促進条例の一部改正案を発議し、執行部提案の議案と併せて原案通り可決しました。

○日南町いきいき定住促進条例の一部改正

奨励金等の名称	改正内容	
結 婚 祝 金	30,000 円	町内に住所を有し引き続き居住する意志のある者が婚姻届を提出し受理されたとき。
出 産 祝 金	30,000 円	町内に住所を有する者が出生届を提出し受理されたとき。
	50,000 円	第1子
	70,000 円	第2子
	70,000 円	第3子以降
	改正前は一律20,000円	
定住奨励金	100,000 円	町内に居住する新規学卒者、及び本町に転入した 60歳未満の者 が町内又は通勤できる町外の事業所等に就労して3年を経過したとき。(改正前は50歳)
	50,000円 × 世帯員数	転入者については、世帯員数に応じて、一人当たり5万円を加算する。
同居奨励金	100,000 円	町内に住所を有し居住する世帯に、転入し同居した者、及び同一敷地内に転入した50歳未満の者、又は町内に居住する世帯に同居する新規学卒者で1年経過したとき。(復活条例)
住宅補助金	300,000 円以内	「結婚祝金」、「出産祝金」及び「定住奨励金」に該当した者が、その該当事由発生前1年、発生後2年の間に、その該当事由に沿った住宅の改修、取得を行ったとき。また、「定住奨励金」に該当する者が、その該当事由発生前4年、発生後2年の間に、その該当事由に沿った住宅の改修、取得を行ったとき。
	1,000,000 円以内	「新築」、「空き家情報活用制度登録物件」以外の場合 事業費の1/5で最高30万円以内
	500,000 円以内	新築の場合 事業費の1/5で最高100万円以内 (新しい補助金) 空き家情報活用制度登録物件の場合 事業費の1/2で最高50万円以内 (新しい補助金)



日南町の10年間出生数	出生数
平成19年度	31人
平成20年度	18人
平成21年度	22人
平成22年度	16人
平成23年度	21人
平成24年度	24人
平成25年度	27人
平成26年度	18人
平成27年度	16人
平成28年度	23人(予定)

町民の皆さんに信頼される民主的なまちづくりを実現するために、議員が地域に出かけて活動の状況を報告し意見交換を行い町政に反映することを目的に開催しました。



多里桜ヶ瀬会館

平成28年度 議会報告会・意見交換会

「ご参加いただきありがとうございました」



福栄地域振興センター

参加人数	会 場	参加人数
10月25日	日南町総合文化センター 多目的ホール（議員全員）	13人
10月26日	福栄地域振興センター 山上地域振興センター	16人 6人
10月28日	大宮地域振興センター 多里桜ヶ瀬会館	9人 8人
10月31日	石見地域振興センター 阿毘緑地域振興センター	7人 9人
	合計	68人



議会基本問題調査特別委員会において、議員定数に関するアンケート調査票「を」お願いしましたところ、町内18才以上の方4,488人のうち1,353人(30.1%)の方にご回答をいただきました。ただいま、集計を行っています。

このアンケート調査は、町民の皆様のご意見を参考にさせていただきます。審議させていただきます。

議員定数等に関する アンケート調査

「ご協力いただきありがとうございました」

条例関係

○日南町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の廃止

○日南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び日南町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

①介護休暇の分割（3回まで可能）
②介護時間の新設（最長連続3年、1日2時間まで）
③育児休業等に係る子の範囲の拡大（特別養子縁組の監護期間中の子等を追加）

○日南町職員定数条例及び日南町公聴会参加者等の実費弁償に関する条例の一部改正

財産の取得

総合行政用端末購入
6,210千円

一般会計補正予算

○老朽危険家屋等解体撤去補助金
600千円



補助金で解体される家屋

○議会活動費（印刷費）
123千円

○町造林事業（日南町FSC認証パネル及び植樹祭会場表示板製作費）
250千円

*道の駅におけるカーボン・オフセットクレジット収入を活用。

議会 あらかると 議員発議で条例制定

議会では、人口減少問題やそれにもない発生する問題等を緩和するため、住民目線で議員発議を行い、政策立案に関する常任委員会や特別委員会を開き、協議を重ね条例の制定や、一部改正を行っています。

平成14年4月から
制定、施行

日南町いきいき定住促進条例
結婚祝金・出産祝金・定住奨励金・住宅等補助金

※平成16年・17年・23年29年に条例の一部改正を行う。
*平成29年の一部改正の詳細については、臨時議会報告（14頁）をご覧ください。

平成23年12月定例会で
条例制定

日南町再生可能エネルギー利用促進条例
太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスエネルギーの促進。

平成25年4月1日から
施行した条例

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
議員が病気等の理由により長期間議員活動ができなくなった場合、議員報酬や期末手当を減額する関係条例の一部改正。



石見東太陽光発電所

住宅改修助成条例

上限30万円（5分の1）
空き家等の適正管理に関する条例

※議会では提案し、発議は執行部
意欲ある農業者支援条例
上限30万円（3分の1）

道 どっこい、この町に生きる 草

亡き父の傘を感じながら 二人で歩む畜産農家へ

石橋 弘充さん・加寿美さん（阿毘縁）



弘充さん 日南町で牛を飼うことが夢だった。それは生まれ育った場所と言うだけでなく、学生時代3回100kmおろちマラソンを走り日南町の選手と言うことで沿道やエイドステーションで知らない人からの声援がふるさと愛を感じました。

親の意見を聞かずに進路を決め、卒業したら和牛で就農と決めていたら、父から「鹿児島が一番の和牛県だから実際に農家を学ぶ必要がある」と言われ鹿児島実習に。これが父からの最初で最後の道標になったけど・・・。

実習に行つて半月で父の訃報が届き、失意の二ヶ月がつづいた時、母親に「とことんやりなさい」と後押しされ実習に復帰できたからここまで来られました。

妻との出会いは26年9月の同級生の結婚式です。二次会の幹事を頼まれ新婦側の友人として協力してくれたのが最初の出会ひ。

加寿美さん 打ち合わせの時、もう

一人牛飼さんが来ると言われどんな人かと勝手なイメージをしていたら、意外と普通の人だった。

弘充さん 二次会の役目を終えると、米子に通いアタックを開始。

27年12月牛舎新築事業の申請が通りめどがたったのを契機にプロポーズしました。

加寿美さん 私みたいな素人が牛と接することができるとか悩んだけど、一生懸命頑張っている姿と、何回か牛に関わっているうちに愛着が湧き、意外と可愛いと感じました。

弘充さん 畜産イコール臭いとか悪いイメージで毛嫌いされたらどうしようかと恐れていたけど、お蔭で昨年7月入籍、10月に式を執り行いました。

加寿美さん 母は随分心配していたけど米子から日南に来てからの方が穏やかになった気がして豊かさを感じます。車が運転出来たら、十分暮らしていけます。

弘充さん 親父の息子ということで



2人仲良く

可愛いがられることが多くあり、亡くなつても父の生きた日南町だからこそ傘となつて一緒に生きている感じがします。

加寿美さん 足が痛いのに車を運転している老人や、大きなお腹をした妊婦さん達が気軽に利用できる頼れる体制があったらと。

弘充さん 荒廃農地解消や土地利用を考えたとき、日南町にとって畜産は必要と考える。畜産研修生など仲間を増やす必要があるのは。頭数が揃い出荷頭数も増えるのでこれから楽しみです。

編集後記

明けましておめでとうござい
ます。本年は酉です。酉（鳥）
は、福や財産を「取り（とり）
込む」という事から、商売繁盛
の意味があるとされています。
又、鳥の目は、広い視野を持
ち、現在どのような状況下にあ
り、何が最も重要な問題なの
かを感じるという目とも言われ
ています。

今年は、日南町にとってどの
ような年になるのか。

これから始まる3月議会では、
新年度の町長施政方針発表
や予算の審議があります。町の
施策に対して、「鳥の目」を持
つて、色々な角度（視野）
で、点検・検証し又提言を行う
決意を新たにしました。

大西 記

議会広報調査特別委員会

委員長	久代 安敏
副委員長	足羽 寛
委員	大西 保
委員	近藤 仁志
委員	福田 稔